
愛し～かなし～

センリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛し〜かなし〜

【Nコード】

N8107P

【作者名】

セシリ

【あらすじ】

大学生になる水十羽詩希は入学初日、彼女の師匠の命により見知らぬ青年と行動をとることにする。

青年と共に行った先はしがらみに縛られた哀れな者の住まう島。そんな島にいたのは……

これは、その島でおきたある事件のお話であり歪んだ愛の物語。

悲劇な喜劇の幕開け（前書き）

処女作なのであまり上手くありませんがそれでもいいという心の広い方はどうぞ

悲劇な喜劇の幕開け

あまつぎりだいがく
天津霧大学

東京、丑巳町にある大学で

頭のよさは並だが、私服OKということと
学園内に寮があることからなかなかの人気を誇っている

そして今日、水十羽 詩希は
天津霧大学の入学式に出ている・・・はずだった

なぜか今、彼女は何処の誰ともわからない不審者に手を引かれ
ながら、ひたすらに走っていた

・・・さかのぼること数時間前・・・

人、人、人

周りには自分と同じ歳くらいの人間であふれかえっている

このうちの三分の一くらいは自分と同じ新入生だろうとどうでもいいことを

考えながら、腰まである紅い髪を持ち周りから若干浮いている私、
水十羽 詩希は歩いていた。

……そして、今思えばそれがすべての始まりだったであろう
出来事は何の前ぶれも無く、何の有余もなく、
一瞬にして唐突に私の視界をうばっていった

ゴッツ……

何かを殴ったような音が聞こえたと思ったら
私の目の前をものすごい速さで黒い物体が過ぎ去り、私は目をつぶ
った……。

しばらくして

目を開けて一番最初に私の視界に入ったのは

青、蒼、藍

海のように真つ青な

空のように透き通った

湖面のようにゆらく

青い、藍い、蒼い髪、と

不適に笑う君の横顔だった……

ふと周りを見れば先ほどまでいた人の群れは逃げるようにこの場から足場やにさっていつていた……

どうやら私は逃げ遅れたようだ……ふん、
とりあえず状況確認をしようと私は周りを見渡す

うん……蒼髪の彼……蒼髪君の3メートルくらいさきにいかにもチャラ男ですといったような
格好の男性が二人、倒れている、
おそらく先ほどの音は彼らが蒼髪君に殴られた音で十中八九、
間違いないだろう

ついでに私の目の前を過ぎ去った黒い物体ということでも間違いな

さそうだ。

そして私の前には彼らを殴り飛ばしたであろう蒼髪君……
さて、私はいったいどうすべきか……

私がこれからについて考えていると蒼髪君は急にこちらを向き、
なにやらボソボソとひとり言を言い出した
いったい何なのかと注意深く聞いてみれば……

「紅い髪に死んだ魚のような目……コイツで間違いないか……
？」

……とても失礼な言葉が聞こえた……

「おい、お前水十羽詩希で間違いないか？」

「……確かに私は水十羽詩希だけど、私は君のような派手で失
礼で
無礼な友人をもった覚えはまったくもって、これっぽっち、一ミク
ロンも無いよ」

……そう彼は派手なのだ整った容姿に蒼い髪、おまけに片耳に大
きめの剣のピアス……
それはもうすがすがしいほどの派手っぷりだ

まあ自分も紅い髪だから人のことを言えた義理ではないが……

「……お前、結構毒舌だな……まあいい、いいか？これより
お前に俺が

あの年中黒服で腹の中も真っ暗なく師匠よりあずかった伝言を伝える」

・・・<師匠>の伝言だと！！・・・ちなみに師匠は私の育て親であり

年中真っ黒のワンピースをきた私の逆らってはいけない人ベスト１だ・・・

まあ詳しい事は後々説明するとして、今は伝言だ伝言

「いいか？師匠の伝言はな

『いいか詩希、今お前の目の前にいる蒼髪は譜恩ふおん 鉤人かぎひとつつつてお前の兄弟子だ、お前ももう大学生だし、そろそろあたしから指令というか命令をだす！！

ちなみに拒否権はないぞ！命令だからな！！！

これよりお前にはこの譜恩鉤人についてあるところに行ってもらおう詳しくは鉤人に聞けよ！

まあちよつとした社会見学というか・・・まあアレだアレ

とりあえずガンバ！！・・・健闘を祈る！！！！』

だそうだ詳しくは行きながらせつめいつすつからさつさと逝くぜ詩希ちゃん？」

「・・・おい今行くが逝くになつてたぞ！！あとチャンずけすんな気持ちわる？ガシツ？

っあ、おい引つ張るな！！！」

こうして彼女はよく分からないまま、不審者こと譜恩鉤人に連れ去られ

天津霧大学から遠ざかっていった

悲劇な喜劇の幕開け（後書き）

最期までこんな駄文を読んでくれてありがとうございます！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8107p/>

愛し～かなし～

2011年1月4日02時36分発行